

## Chapter 2

# 社会教育計画策定の手順

秋田大学准教授 原 義彦

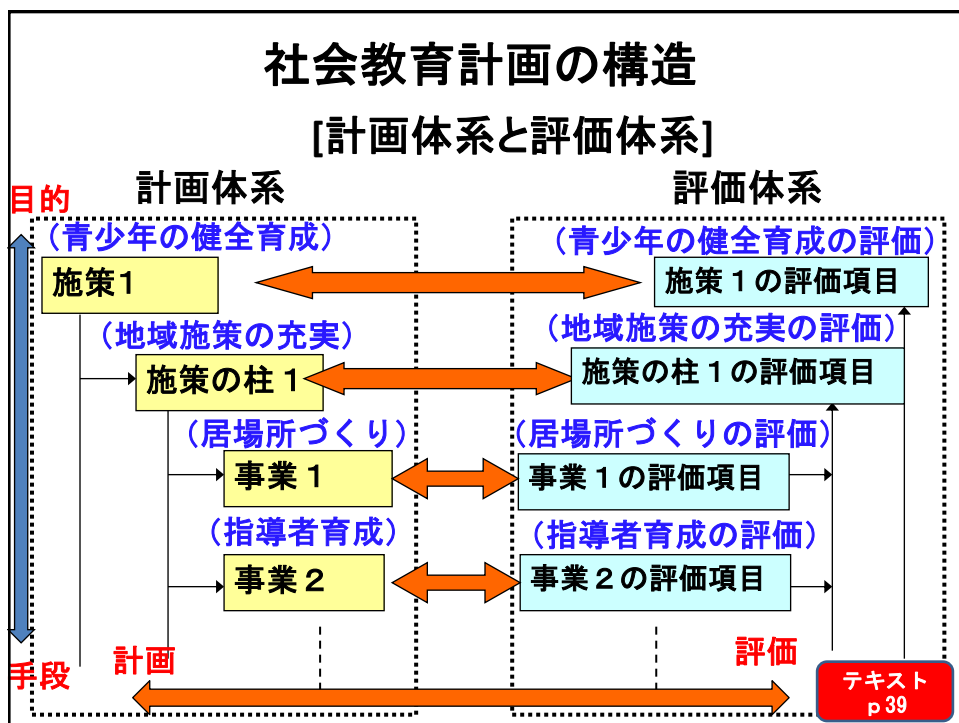
## Chapter2の内容

1. 社会教育計画の構造
2. 社会教育計画策定の手順

## (1) 社会教育計画の構造

- ・計画体系と評価体系の関係
- ・目的と手段

テキスト  
p 39~40



## まとめ

- ① 社会教育計画は、計画体系と評価体系で構成され、それぞれが対応している。
- ② 計画体系の内容は、目的と手段の関係により、トップダウンで設定される。
- ③ 評価体系の内容は、個別から全体へという関係により、ボトムアップで設定される。

テキスト  
p 39～40

- (2) 社会教育計画策定の手順の流れ
  - 策定作業の全体構成

テキスト  
p 41

# 社会教育計画策定の手順

## <作業の全体構成>

### 現状 分析

①自治体の概要 分析シート1

②社会教育の現状と課題 分析シート2



### 計画 策定

①中長期計画

②年次計画

③年間事業計画

④事業計画

⑤学習展開計画

- ・ 総論 計画シート1
- ・ 基本方針 計画シート2
- ・ 施策、施策の柱、事業
- ・ 施策、施策の柱、事業  
の評価の視点、指標

計画シート3-1

計画シート3-2

テキスト  
p.41

## (2) 社会教育計画策定の手順の流れ

### ○ 現状分析の手順

テキスト  
p.30~34

## 現状分析の手順

### 現状分析①：自治体の概要

社会教育計画に反映させる地域条件、生活状況、教育・文化的環境の特徴、現状と課題等の整理（分析シート1）

### 現状分析②：社会教育の現状と課題

現行の計画の取組状況、問題点の整理  
→新たな社会教育計画で取り組むべき課題、方向性の明確化（分析シート2）

テキスト  
p 30～34

## (2) 社会教育計画策定の手順の流れ

### ○ 計画策定(計画体系)の手順

テキスト  
p 35～57

## 計画策定(計画体系と評価体系)の手順

- 手順1 計画体系の骨格づくり
- 手順2-1 【事業】評価フロー図作成
- 手順2-2 【事業】の目標(仮)の検討
- 手順3-1 【施策の柱】の評価(視点、指標)を作成
- 手順3-2 【施策の柱】の[達成目標](仮)の検討
- 手順4 【施策の柱】の[達成目標]と  
【施策】の[戦略的な目標](仮)の関係の検討
- 手順5-1 【施策】の評価(視点、指標)の作成
- 手順5-2 [戦略的な目標](仮)の検討
- 手順6 全体の整合性の検討

テキスト  
p.41

## 手順1 計画体系の骨格づくり

### <施策>

#### 家庭の教育力の向上

#### 【戦略的な目標】(仮目標)

- 1.親等が身近な場所で学習できる環境を作る。
- 2.家庭教育を支援する団体・人材の活動等が充実するよう支援する。
- 3.地域で家庭教育を支援する仕組みを作る。
- 4.親等に家庭教育に関する情報や資料を積極的に提供する。
- 5.先駆的・モデル的な事業を実施し、その成果の普及を図る。

テキスト  
p.42・44

## 手順1 計画体系の骨格づくり

### <施策>

家庭の教育力の向上

#### 【戦略的な目標】(仮目標)

1. 親等が身近な場所で学習できる環境を作る。
2. 家庭教育を支援する団体・人材の活動等が充実するよう支援する。
3. 地域で家庭教育を支援する仕組みを作る。
4. 親等に家庭教育に関する情報や資料を積極的に提供する。
5. 先駆的・モデル的な事業を実施し、その成果の普及を図る。

### <施策の柱>

2. 家庭教育に関わる団体・人材の育成

#### 【達成目標】(仮目標)

地域における家庭の教育力向上を支援する団体・人材の活動の一層の活性化のため、資質や能力、専門的スキルの向上を内容とする研修を実施する。

テキスト  
p.43・44

### <施策の柱>

2. 家庭教育に関わる団体・人材の育成

#### 【達成目標】(仮目標)

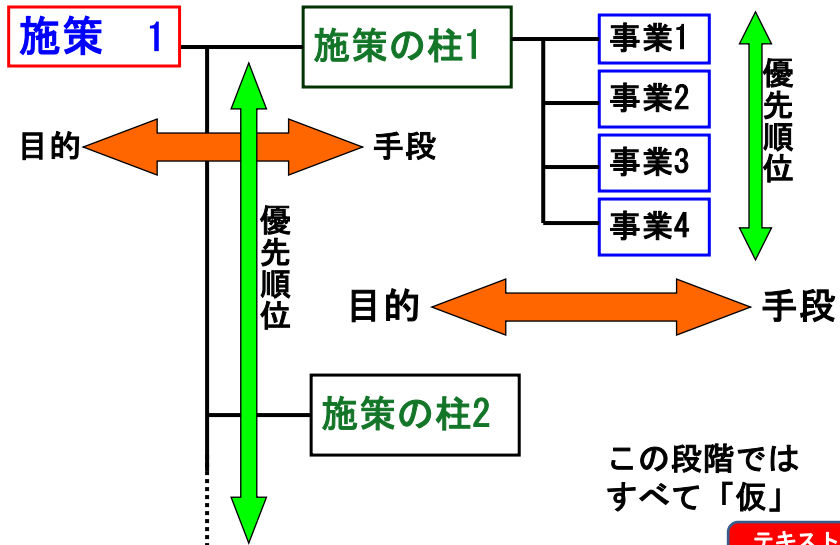
地域における家庭の教育力向上を支援する団体・人材の活動の一層の活性化のため、資質や能力、専門的スキルの向上を内容とする研修を実施する。

### <事業>

- ① 子育てサポーターリーダー養成事業
- ② PTAリーダー養成事業
- ③ 子育て応援フェスタ
- ④ 家庭教育電話相談員専門講座

テキスト  
p.43・44

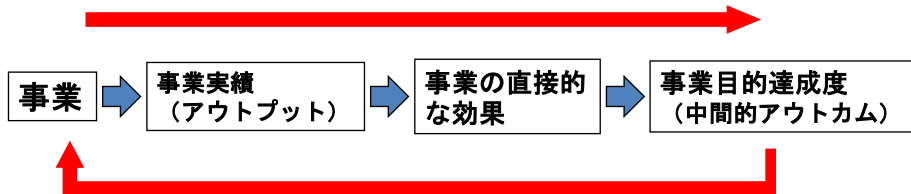
## 計画(施策)の体系



テキスト  
p.43

## 手順2-1 【事業】評価フロー図の作成 手順2-2 【事業】の目標(仮)の検討

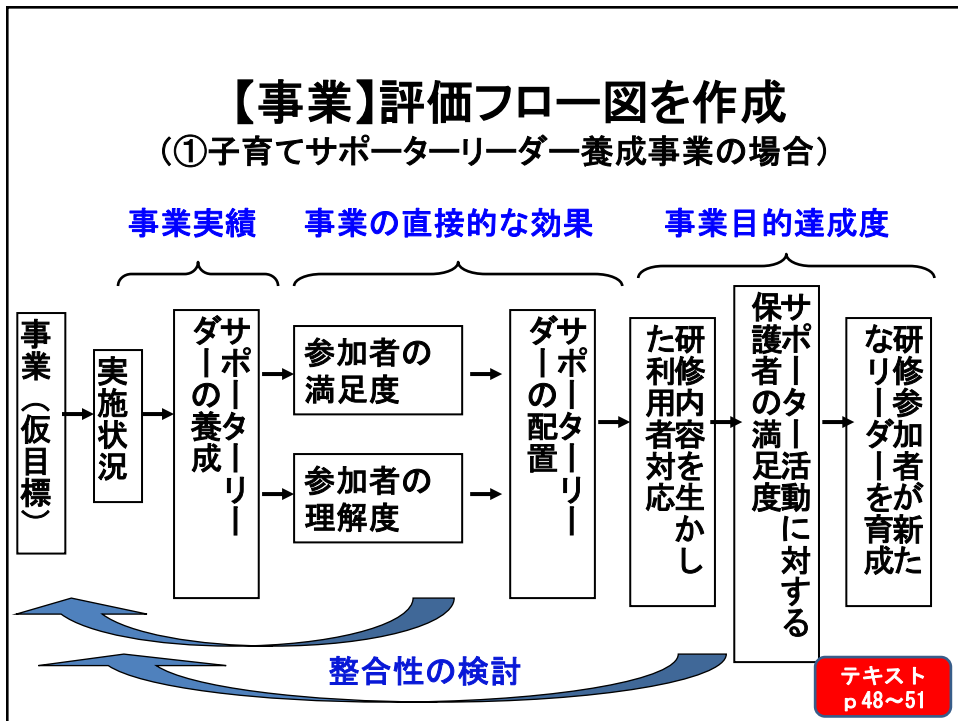
### 事業フロー図作成の流れ (手順2-1)



### 事業目標達成度と【事業】の目標(仮)の 整合性の検討(手順2-2)

テキスト  
p.46~49



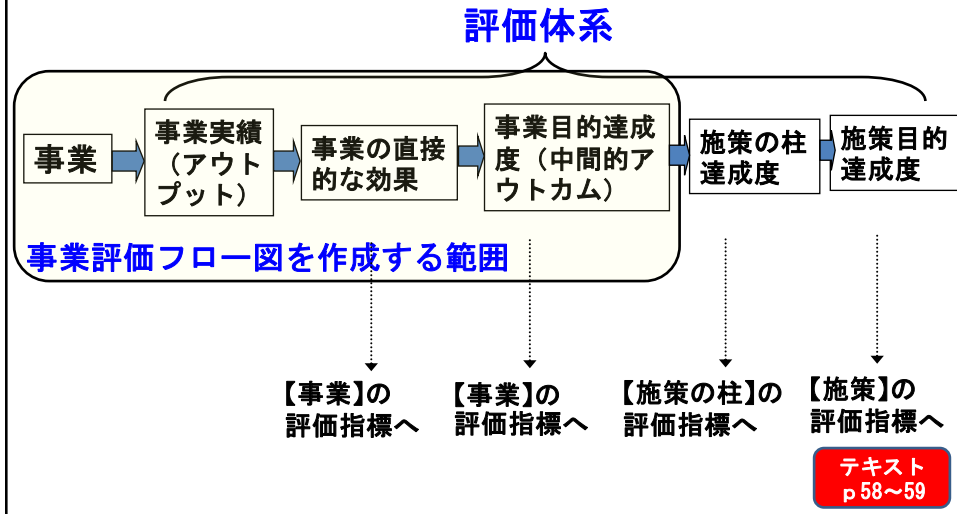


## (2) 社会教育計画策定の手順の流れ

○ 計画策定(評価体系)の手順

テキスト  
p 50~34

# 事業評価フロー図と評価指標の対応



## 評価指標洗い出し一覧(一部)

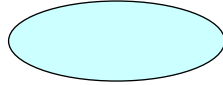
事業	事業実績	事業の直接的な効果	事業目的達成度	【施策の柱】の評価の視点
①	サポーターリーダーの養成数	研修参加者の満足度	研修内容を生かした対応件数	子育て支援、家庭教育支援に関わる指導者・人材の活動が充実したか。  PTA、子育てサークル、子育て支援NPO等地域の家庭教育支援団体の活動が充実したか。  テキスト p 56・57
	サポーターリーダーの参加率	研修参加者の理解度	研修内容を生かした対応件数	
②	研修の実施回数	サポーターリーダーの配置数	研修参加者が新たに育成したリーダー数	
	研修への参加者数	PTAの重要性を理解した人数	参加者がPTAのない学校に働きかけ、新たに立ち上げた数	
③	実施回数	単位PTA等で報告会等を実施した割合	PTA活動に満足した保護者割合	
	参加者数	参加した保護者等の満足度	保護者等がわが子への関わり方を見直した人数	
④	実施回数	自らの団体の役割を認識した人数	PTA等で新しい取組を実施した団体数	
	参加者数	研修内容の理解度	相談により保護者等の悩みが減少した率	
		受講後、相談の方法や内容の改善に取り組んだ相談員数	リピーター数	

# 評価指標の選択・作成

## 【事業】の評価指標

→ 【施策の柱】の評価指標へ

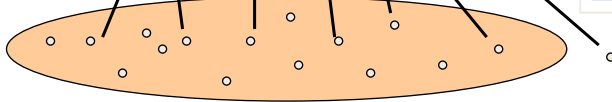
【施策】の  
評価指標



【施策の柱】の  
評価指標



【事業】の  
評価指標



単純性

整合性

包括性

測定可能性

事業（指標）の  
重要性、優先性

テキスト  
p 58~61

## 手順3-2 【施策の柱】の[達成目標]（仮）の検討

（評価指標洗い出し一覧を基に）

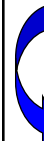
<施策の柱>

2. 家庭教育に関わる団体・人材の育成

[達成目標]（仮目標）

地域における家庭の教育力向上を支援する団体・人材の活動の一層の活性化のため、資質や能力、専門的スキルの向上を内容とする研修を実施する。

修正



[達成目標]（修正後）

PTA等地域における家庭の教育力を支援する団体のリーダー等の人材の資質や能力、専門的スキルの向上を内容とする研修を通じて、その団体・人材の活動等の一層の促進を図る。

<施策の柱>の評価の視点

- ① 子育て支援、家庭教育支援に関わる指導者・人材の活動が充実したか。
- ② PTA、子育てサークル、子育て支援NPO等地域の家庭教育支援団体の活動が充実したか。

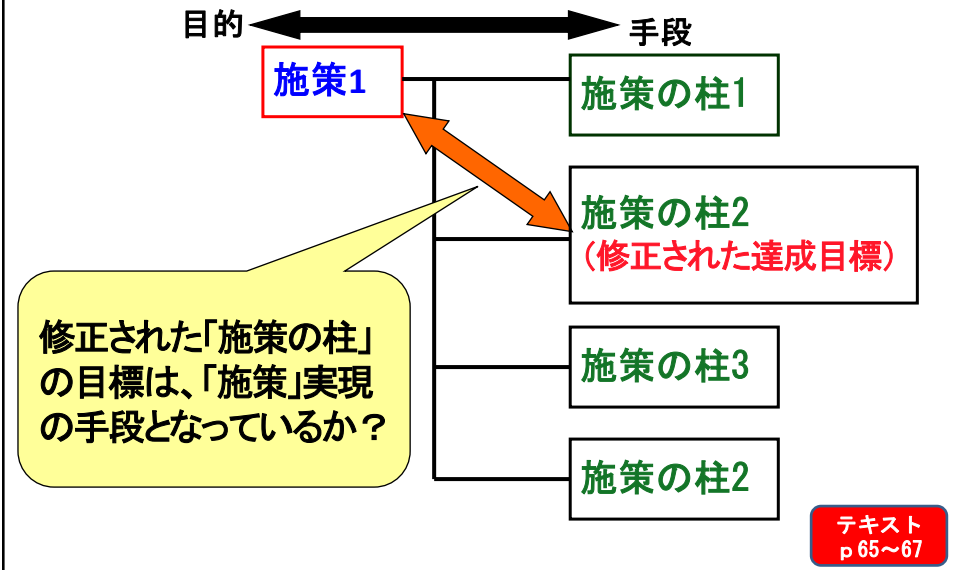
<評価指標>

- ① サポーター活動に対する保護者の満足度、サポーターがコーディネートを行った件数、相談により保護者等の悩みが減少した率
- ② 参加者のうち、内容、課題を理解した団体リーダーの人数、研修内容から新たな活動を実施した団体数、PTA活動に参加する保護者等の比率

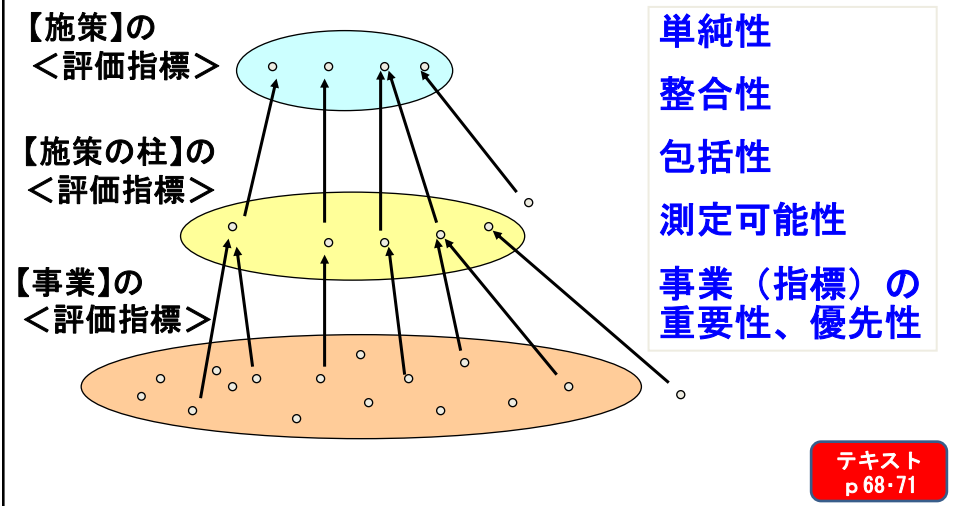
適切に評価できるか検討

テキスト  
p 59・62・63

**手順4 【施策の柱】の  
[達成目標]と【施策】の[戦略的目標](仮)の検討**



**手順5-1 【施策】の評価(視点、指標)の作成  
評価指標の選択・作成  
【施策の柱】の指標→【施策】の指標へ**



## 手順5-2 施策の評価と施策の戦略的目標(仮)の検討

### <施策>

家庭の教育力の向上

#### 【戦略的な目標】(仮目標)

1. 親等が身近な場所で学習できる環境を作る。
2. 家庭教育を支援する団体・人材の活動等が充実するよう支援する。
3. 地域で家庭教育を支援する仕組みを作る。
4. 親等に家庭教育に関する情報や資料を積極的に提供する。
5. 先駆的・モデル的な事業を実施し、その成果の普及を図る。

修正  
(追加)

6. 県民やさまざまな団体・機関等が地域で子育てを支える意識を持てるようにする。

(フロー図等から検討)

### <施策>の評価の視点

- ①保護者等が身近な場所で学習できる環境が充実したか。
- ②家庭教育を支援する団体・人材の活動等が充実したか。
- ③地域で家庭教育を支援する市町村の施策が充実したか。
- ④保護者等に対して、家庭教育に関する情報や資料を積極的かつ的確に提供できたか。
- ⑤調査研究や先駆的・モデル的な事業の成果を市町村等関係機関に普及できたか。
- ⑥県民やさまざまな団体・機関等が地域で子育てを支える意識を持てたか。

適切に評価できるか検討

テキスト  
p 69・72・73

## 社会教育計画策定上の留意点

### 《1》 計画実施後に評価が行える設計

→計画体系と評価体系を合わせ持つこと



利点: どのレベルにおいても評価できる

事業レベル

施策の柱レベル

施策のレベル

テキスト  
p 35~82

## 社会教育計画策定上の留意点

- 《1》 計画実施後に評価が行える設計  
→計画体系と評価体系を合わせ持つこと
- 《2》 計画体系の各レベル間が、  
目的—手段 の関係となること
- 《3》 評価体系の各レベルの指標の間に、  
包括性や集約性等の関係が必要
- 《4》 計画体系の目標と  
評価体系の評価の視点や評価指標  
の対応

テキスト  
p 35～82